

平成30年第7回定例会一般質問通告書

通告1番 倉橋 誠司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 ラムサール条約について

質問相手 町長

質問の要旨 環境省はラムサール条約の3つの柱として、「保全・育成」、「賢明な利用」、「交流・学習」を挙げている。当町では、こういった取り組みをするのか。

2件目

質問事項 イタリア・ベザーノ町との関係について

質問相手 町長

質問の要旨 1 ベザーノ町と旧歌津町のこれまでの経緯は。  
2 南三陸町としてベザーノ町との関係活性化の考えは。

3件目

質問事項 震災復旧復興の道路整備の進捗状況について

質問相手 町長

質問の要旨 1 平成32年度末に向けて、各工事は順調に進んでいるといえるか。  
2 安全で利便性の高い道路を求める声がある。現状は充分と言えるか。  
3 カーナビが機能せずに道に迷う旅行者が多い。道路標示看板は充分か。  
4 イベント時や事故時の渋滞が大きい。う回路の整備を。

通告2番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

質問事項 防災対策の現状とこれからについて

質問相手 町長

質問の要旨 復興も進み、最重要課題として位置付けた当町の復興も最終的な形が見え始める中、私たちが経験した地震・津波以外の自然災害が全国的に発生している。震災以降、国や県においては、想定災害の再検討や防災計画の見直しを行うなど、防災に対する方向性にも変化が生じ、当町も被災地の経験を生かした柔軟な体制づくりをしてきたと認識している。

しかしながら、町全体として防災意識が向上しているとはいえ、共有認識の薄さを感じざるを得ない。想定外を身をもって知った私たちが取り組むべき、これからの自助・共助・公助による総合的な防災力のさらなる向上へ向け、現状における課題と、今後の体制づくりをどのように考えているか伺う。

通告3番 千葉 伸孝 議員

質問方式 一問一答

質問事項 ラムサール条約登録で町への経済効果と問題点は

質問相手 町長

質問の要旨 1 ラムサール条約登録で町への経済効果は。

- 2 環境管理の財源はどうするのか。
- 3 今後どのように志津川湾の湿地を全国・世界にアピールしていくのか。
- 4 ラムサール対策室としてのネイチャセンターの役割は。また、漁協との情報交換や、各課との連携の体制はどうなるのか。
- 5 これまでの志津川湾における漁業者のなりわいに影響はないのか。また、水産業の水揚げや処理などに対する規制はあるのか。
- 6 志津川湾の大きな問題の磯焼け対策として、海藻・海草の再生が必要です。大震災から水産物が少しずつ上向きしている中で、基幹産業としての大切な漁業に対する町長の考え方は。

通告 4 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 追悼・鎮魂の場所の整備

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 歌津地区への震災で犠牲となられた方たちの為に、静かに手を合わせられる場の整備。
- 2 戸倉地区へも、震災の風化を防ぎ、遺族の方々がいつでも追悼できる場の整備。

2 件目

質問事項 雑草のない美しい景観を協働の町づくりで

質問相手 町長

質問の要旨

- 1 草刈機購入への補助。
- 2 混合ガソリン、替刃などの支給。
- 3 「龍のひげ」などの植樹での景観保全。

通告 5 番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 六次産業化に向けての町の取り組みと支援策は

質問相手 町長

質問の要旨 現在、農業従事者の多くは高齢で後継者問題を抱えた人たちが多く、自分自身にむちをうって日々頑張っている現状である。一次産業の生産だけでなく、それに付加価値をつけての収益増をめざし、六次産業化へ向けて頑張っている産業従事者への町としての取り組みと支援策を問う。

2 件目

質問事項 隣市の放射性物質汚染稲わらの受け入れ状況について

質問相手 町長

質問の要旨 現在も旧水界トンネル内に保管されている、放射性物質汚染稲わらの管理方法を近隣自治体との間で協議されてきたと思うが、管理が行き届いていない状況である。現状を把握し、改善するべきでは。

通告6番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

質問事項 環境対策について

質問相手 町長

質問の要旨 1 町では、住民サービスの1つとして多額の費用を要して、ごみ・し尿処理を行っているが、施設の老朽化対策などの課題も多いと認識するが、次の点を伺う。

クリーンセンター・衛生センターの老朽化対策は。

焼却・最終処分を他に依存している現状だが、ごみ排出量の抑制などが重要と考えるが具体の考えは。

2 山林の荒廃、耕作放棄地の拡大でごみの不法投棄の発見の遅れにつながり、景観悪化、河川ごみの増大、水質の悪化にもつながる懸念がある。どう対応していくのか。

3 堆肥等の処理は各農家の重要な課題であると認識しているが、全て適切に処理されているか、町では現状をどう捉え、どう対応していくのか伺う。

通告7番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 少子高齢化対策について

質問相手 町長

質問の要旨 1 これからの当町では、人口減少問題が避けて通れないが、その対策は。

2 出生率を上げるための施策を具体的に考えては。

3 婚活事業を委託したが、進捗状況は。

4 元気高齢者の活用方法を考えては。

2 件目

質問事項 町の滞納整理（歳計外含）の現状について

質問相手 町長・教育長

質問の要旨 1 町営住宅使用料徴収委託事業を今後見直す考えは。

2 滞納整理（歳計外含）に当たる職員の手当を考えては。

3 収納職員のスキルアップと、各担当課との連携を図るべきでは。

通告8番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

質問事項 ごみの処理について

質問相手 町長

質問の要旨 ごみ処理にかかる費用は年々増加しており、その仕組みについて様々な検討、実証試験がおこなわれている。エコタウンへの挑戦を掲げ、いのちめぐるまちを目指す当町においては、ごみ処理をめぐる仕組みは極めて重要なインフラのひとつと位置付け、慎重に検討する必要があると思うが、町長の考えを伺う。

- 1 ごみ袋の有料化が検討されているが、どのような成果が得られると考えているのか。
- 2 事業系ごみ処理の現状と課題は。